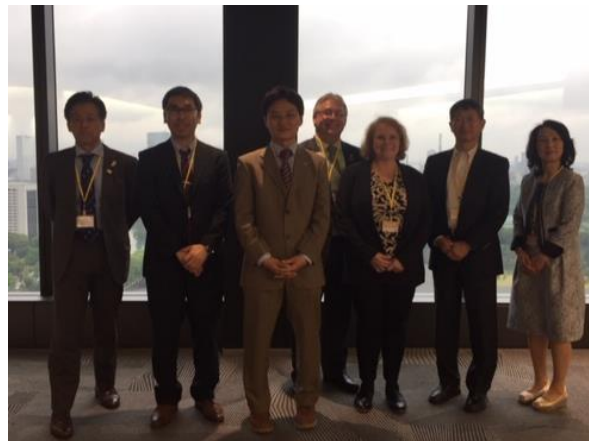


総会前日の6月7日午後、東京・有楽町の三菱重工本社ビルで4年目となるJSPE-NSPE合同会議を実施しました。この試みは、日本国内においてJABEEという国際的なエンジニアリング教育の認定枠組みがあることを米国側にも知ってもらう、および米国におけるエンジニアリング教育の最新動向を我々日本側も知っておくことを目的としています。今回は、JABEE側の都合がつかないところから、会員数の増加と、webサイト運営に関する情報交換をJSPE-NSPE間で行い、JSPEからは近年の取り組み事項と課題について報告しました。

今回の会議では、まずJSPEから過去1年間に実施したCPDセミナー、エンジニアサロン、プロジェクトマネジメントセミナーなどの活動内藤を紹介しました。また、会員数を増加させるための取り組みについても意見交換を行いました。イトキン会長によると、NSPEには約2,000人の学生会員がおり、学生分科会の活動だけでなく、大学に訪問しPEライセンスの説明会なども実施しており、このような会員の裾野を広げる活動が将来的な会員数の増加には必要とアドバイスをいただきました。JSPEのwebサイトについても紹介を行い、会員が必要とする情報にアクセスしやすいように実施しているイベントの報告、PE/FE試験・登録体験記の州・分野別の整理などについて説明を行いました。イトキン会長からは、英語、スペイン語などの日本語以外のwebサイト対応も重要であると指摘を受けました。実際、NSPEのホームページでは、Google transferを用いて英語⇔スペイン語間を翻訳をしているとのこと、今後のwebサイト運営にあたり考慮していきたいと思えます。

NSPEの会費については、現在JSPE会員であり、NSPE会員にもなっている方々にとっては昨年度からの会費の値上げ（概ね\$150→\$300）が課題であり、NSPE会員として継続できなくなる可能性がある旨を伝えました。イトキン会長は7月のNSPE総会で米国非在住の海外会員の会費について従来同等の約150USDへの減額を審議することを約束していただきました。また、NSPEとJSPEの将来的な発展を目指し、NSPE Bylawに基づいた新たな協定を結ぶことについて提案し、検討いただけることになりました。

JSPEで導入を検討しているwebinarについては、NSPEのシステムを紹介いただき、webinar対応する際に必要となる要素について情報交換を行いました。ポイントは、生放送方式と録画方式の使い分けにあり、



生放送では受講者からの質問を上手く取り上げること、録画方式では Q&A 対応を 24 時間以内に回答することが重要とアドバイスをいただきました。

会員からの意見の収集方法についても議論を行い、NSPE では主にアンケート、会員と対面して議論、州を訪問して意見の吸い上げの 3 パターンで収集していると伺いました。JSPE でも昨年アンケートを実施していますが、会員との対面や地方の会員からの意見も収集する方法を検討したいと思います。

NSPE の Ethic Case レビュー活動 (BER) が今年 60 周年を迎え、日本のエンジニアにとっても良い教育材料になるだろうとの紹介を受けました (PE マガジン 5/6 月号にも記事があるとのこと)。

会議は活発な意見交換が行われ、来年も是非継続したいということを確認して終了しました。
なお、イトキン会長ご夫妻と JSPE 側参加者 5 名とは、その後有楽町内の創作和食店に場所を移して、更に日米間の継続教育について話を行い、親睦を深めました。



<日時> 2019 年 6 月 7 日 (金) 15:00 - 17:00

<出席者(計 7 名)>

JSPE 川村武也会長夫妻、善本正実理事、森山亮理事、西久保東功理事

NSPE マイケル・イトキン会長夫妻 (Michael and Pamela Aitken)

<場所>三菱重工本社ビル (有楽町)

(理事 西久保東功)